

の食物が活躍するブランドづくりをしてくれるので減らしすぎは危険なのです。

食物の性質を正しく知ること。それを再構成して、料理に仕上げるプロセスに、わが家の個性、家族の個性が發揮されること。

個性的に太る——これは、プロポーションの上からも、食物の食べ方からも、重要なことです。そのためには、わが家の夫のチャーミングポイントをよく知ること、そして食物の一つ一つのチャーミングポイント（味の面でも、体重のバランスの面でも）を知り、その食物を使つて、わが家の食事のチャーミングポイントを創り出していくことであり、そのことは多分、わが家族の、わが夫の新しい魅力を創り出していくことにつながるのではないかと思うのです。

体重の減量には運動も併用

体重は摂取カロリーと消費カロリーのバランスの上に立っていますから、減量をより効果的に果たすには、消費カロリーを増やすことも必要なことはいうまでもあります。

全運動が減量には効果的です

単的にいって、小さな筋肉を使う運動よりも、大きな筋肉を使うものの方がよいことはいうまでもありません。

従つて、脚・腰を使う運動や全身を動かす運動がこれに該当するということになります。そのいい例としては、ランニング、などと云ふ。本体、自転車乗り、マカクシユ、だのの運動も始めは週3回ぐらゐのペースでトレーニングをして、最終的には週5~6回ぐらゐにまで増やしていくとよいでしょう。

ヘトランク・カール

床にお向けに寝て、両脚をそろえてのばし、両手をもの上におきます。そしてあごを胸につけ、胸を丸めるようにして、両手の指先をひざまでべらせながら、背中の上半分を

中

へ

り8回から始めてください。

ヘニーリフト

この運動はいすひとつを使うだけなので会社でもでき、便利です。

まず10回ぐらゐから始めて、回数を次第に高めてください。

朝、晩、ふとんの中でやるとよいです。

よ。

り8回から始めてください。

ヘニーリフト

